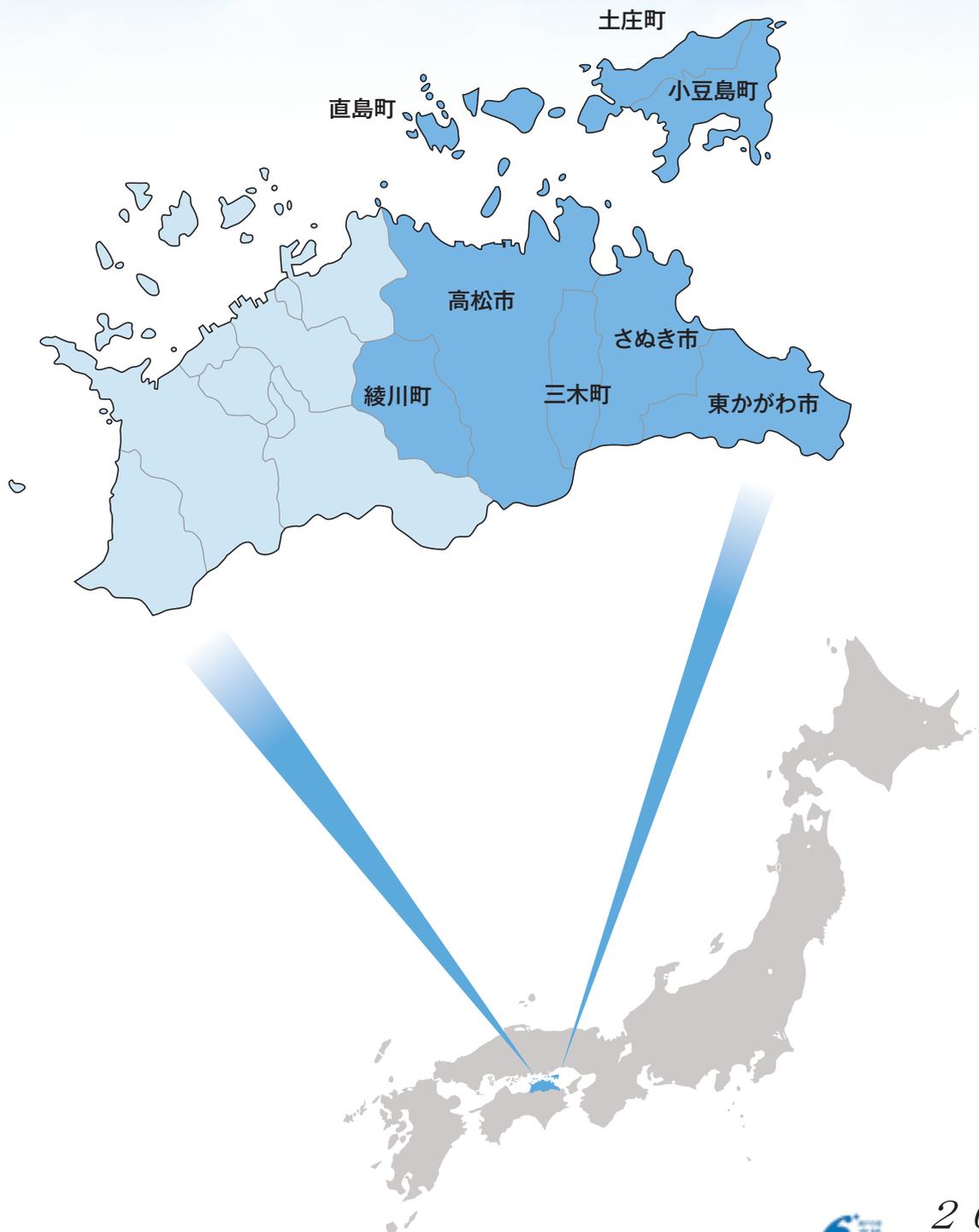


2010~2015

瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン

平成二十四年度変更版



2012.5

高松市

目 次

	ページ
1 定住自立圏および市町の名称	1
(1) 定住自立圏の名称	
(2) 定住自立圏形成協定を締結した市町の名称	
2 定住自立圏共生ビジョンの目的および期間	2
(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	
(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間	
3 定住自立圏の将来像	3
(1) 都市機能の集積状況等	
(2) 圏域形成の経緯	
(3) 目指すべき圏域像	
(4) 施策の基本方向	
4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	9
(1) 生活機能の強化	10
(2) 結びつきやネットワークの強化	38
(3) 圏域マネジメント能力の強化	58
5 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン事業一覧	61
＜資 料＞	
◆ 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	88
◆ 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	90

1 定住自立圏および市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

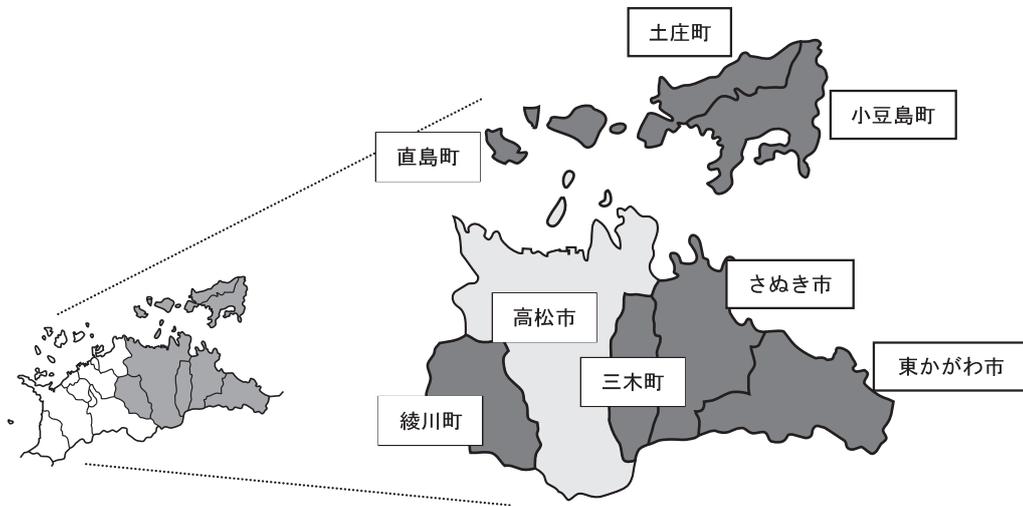
瀬戸・高松広域定住自立圏

(2) 定住自立圏形成協定を締結した市町の名称

中心市 高松市

周辺市町 さぬき市，東かがわ市，土庄町，小豆島町，三木町，直島町，綾川町

瀬戸・高松広域定住自立圏の圏域



圏域および各市町の面積・人口

	市 町 名	面 積 (k m ²)	人 口 (人)
1	高 松 市	375.14	420,231
2	さ ぬ き 市	158.90	52,046
3	東 か が わ 市	153.35	32,976
4	土 庄 町	74.39	14,773
5	小 豆 島 町	95.63	15,873
6	三 木 町	75.78	28,280
7	直 島 町	14.23	3,241
8	綾 川 町	109.67	24,280
	計	1,057.09	591,700

注1) 人口は、平成24年3月1日現在の香川県推計人口によります。

注2) 海洋部も含めた面積は、約1,300k m²です。

2 定住自立圏共生ビジョンの目的および期間

2 定住自立圏共生ビジョンの目的および期間

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンは、圏域の将来像の実現に向けて、瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定に基づき、中心市と周辺市町が連携して推進する具体的な取組を示すことを目的として策定するものです。

(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間

平成22年度 ～ 平成27年度

ただし、毎年度所要の変更を行うものとします。

3 定住自立圏の将来像

(1) 都市機能の集積状況等

ア 中心市の都市機能

項目	都市機能	施設（サービス）名	備考
医療・福祉	地域がん診療連携拠点病院 (厚生労働省指定)	香川県立中央病院	
		高松赤十字病院	
	救急病院等 (県指定)	[第2次・第3次] 香川県立中央病院	
		[第2次] 高松市民病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 屋島総合病院 栗林病院 国家公務員共済高松病院 高松平和病院	高松市民病院 入院，外来の延べ人数 242,709人
		香川県小児救急電話相談	毎日19時から翌8時まで (小児科医，看護師が対応) 8,049件 ※一般向け救急電話相談は 平成23年4月から実施
	その他(市立病院)	市民病院塩江分院 市民病院附属香川診療所	入院，外来の延べ人数 51,737人 53,689人
	児童相談所	香川県子ども女性相談センター	5,213件(うち市外2,932件)
教育	大学	国立大学法人 香川大学 高松大学 香川県立保健医療大学 高松短期大学	
	高等専門学校	香川高等専門学校	
	中高一貫校	香川県立高松北中学校・高等学校 大手前高松中学校・高等学校 香川誠陵中学校・高等学校	全日制普通科
	各種専門学校	32校	学校教育法による認可校

3 定住自立圏の将来像

項目	都市機能	施設（サービス）名	備考
消費	百貨店	2店	大規模小売店舗 5,000 m ² 以上 (大規模小売店舗立地法に基づく届出による)
	大型書店	1店	
	大型家電量販店	2店	
	大型ショッピングセンター	17店	
	消費者生活センター	高松市消費生活センター	1,664件 (高松市民対象)
香川県消費生活センター		6,327件 (うち市外 3,770件)	
情報・娯楽・文化	放送	日本テレビ系列, テレビ朝日系列, フジテレビ系列, TBS系列, テレビ東京系列	民放, 主要5局視聴可
	シネマコンプレックス	1施設	
	美術館・博物館	高松市美術館	115,812人
		高松市塩江美術館	13,602人
		香川県立ミュージアム	160,740人 (2分館含む)
	資料館等	高松市歴史資料館	27,180人
		高松市石の民俗資料館	87,872人 (施設に付随する公園利用者を含む)
		高松市讃岐国分寺跡資料館	20,474人
		高松市香南歴史民俗郷土館	20,698人
		菊池寛記念館	11,097人
	大型文化芸術ホール	サンポートホール高松 (高松市文化芸術ホール)	360,451人
		アルファあなぶきホール (香川県県民ホール)	467,761人
	大規模図書館	高松市図書館	610,282人 貸出冊数 3,010,991冊 (4地域館・移動図書館含む)
		香川県立図書館	貸出冊数 928,053冊 ※入館者数 未測定

項目	都市機能	施設（サービス）名	備考
交通	高速道路	高松自動車道	高松東 IC, 高松中央 IC, 高松檀紙 IC, 高松西 IC
	ターミナル駅	JR 高松駅	【バス】 20 社【列車】 1 社 (平均乗降者数 24,652 人/日)
		琴電瓦町駅	【バス】 2 社【電車】 1 社 (平均乗降者数 12,198 人/日)
	長距離バス	高松⇄東京, 横浜, 名古屋, 京都, 大阪, 神戸, 広島, 福岡, 松山, 高知, 徳島	
	空港アクセスバス	高松⇄高松空港, 関西国際空港	
航路	航路（高松港～小豆島）	【高松港～土庄港】フェリー 15 便, 高速艇 16 便 【高松港～池田港】フェリー 8 便 【高松港～草壁港】フェリー 5 便, 高速艇 5 便	
	航路（高松港～豊島）	【高松港～家浦港】高速艇 5 便	
	航路（高松港～直島）	【高松港～宮浦港（直島）】フェリー 5 便, 高速艇 1 便	
レンタサイクル	高松市立レンタサイクルポート	市内中心部に 7 箇所のレンタサイクルポートを設置 (高松駅前広場地下, 瓦町地下, 栗林駅前, 南部駐車場, 栗林公園駅前, 市役所, 片原町駅前) 受付時間: 7 時～22 時 (南部駐車場のみ 7 時 30 分から) 年中無休	298,069 件 (一時, 定期利用計)

平成 24 年 3 月 31 日現在（備考欄の件数, 人数等は平成 22 年度実績）

3 定住自立圏の将来像

イ 地域資源（主なイベント、特産品）

市 町	イ ベ ン ト	特 産 品
高松市	①さぬき高松まつり（8月） ②むれ源平石あかりロード（8月～9月） ③高松秋のまつり（10月） ④高松冬のまつり（12月）	讃岐うどん、漆器、盆栽、庵治石製品、保多織り（ぼたおり）、讃岐提灯、高松和風、和傘、鯛持戎や奉公さんなどの張り子人形、獅子頭
さぬき市	①みろく納涼夏まつり（8月） ②かぐや姫カーニバル長尾（10月） ③さぬき市へんろ88ウォーク（11月） ④南川じねんじょまつり（12月）	自然薯、桐下駄、ワイン、牡蠣、白下糖、海産物、カンカン寿司、どじょう汁
東かがわ市	①引田ひなまつり（2月～3月） ②とらまる人形劇カーニバル（9月） ③あいらぶ東かがわ大物産展（11月）	手袋製品、革製靴・バッグ製品、ニット製品、和三盆、ひけた鰯、海苔、海産物、パセリ、青ネギ、ホワイトアスパラガス、いちご、ブロッコリー
土庄町	①肥土山農村歌舞伎奉納（5月） ②肥土山の虫送り（7月） ③小豆島まつり（8月） ④瀬戸内海タートルフルマラソン全国大会（11月）	ごま油、手延素麺、醤油、海苔
小豆島町	①小豆島オリーブマラソン全国大会（5月） ②小豆島まつり（8月） ③醤油サミット（10月） ④中山農村歌舞伎奉納（10月）	醤油、手延素麺、佃煮、電照菊、オリーブ製品、ハーブ製品、石材産業、すもも
三木町	①いけのべ七夕まつり（8月） ②獅子舞フェスタ（9月）	いちご、いちごワイン、きゅうり、黒大豆
直島町	①みどり推進事業（5月） ②直島夏まつり（8月） ③直島の火まつり（8月）	金、銀、銅製品、ハマチ、のり、焼酎、海産物、塩製品、お菓子
綾川町	①主基斎田お田植まつり（6月） ②滝宮念仏踊（8月）	米、いちご、きゅうり、富有柿、ブロッコリー、アスパラガス、鮎、讃岐装飾瓦、清酒

(2) 圏域形成の経緯

産業・文化の振興や観光客などの交流人口の増加等により、地域社会の活性化や経済基盤の安定を図るためには、都市の個性や魅力を生かしたブランドイメージを向上させることが効果的であり、高松市の地域特性が、港・海と都心との近接性にあること、ウォーターフロントの都市機能整備が進展してきたことを踏まえると、瀬戸内海という世界に誇るべき地域資源を含めて、都市圏として捉えることが必要です。

従来の田園都市圏に加えて、海園都市圏という生活の質を重視した新たなスタイルの生活圏を想定し、瀬戸内海の島しょ部の多様性を含めたエリアとして、一体的に捉えることで、陸側では足りない部分を補うことが可能となり、生活圏としての質の向上、対外的魅力の向上につながります。

このような考えの下、平成22年1月14日に、中心市である高松市と、土庄町、小豆島町、三木町、直島町および綾川町との間で、瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定を締結するとともに、平成24年4月13日には、さぬき市、東かがわ市と協定を締結しました。

(3) 目指すべき圏域像

定住自立圏は、中心市と周辺市町が、それぞれ1対1の協定を締結し、結果として圏域が形成されるもので、瀬戸・高松広域定住自立圏は、中四国においても中核的な規模の都市機能を有するものです。

このようなことから、広域連携による行財政の効率化の推進のほか、圏域内への民間企業の投資意欲の向上が期待でき、内需の拡大や地域経済の活性化に加え、人の流れの創出によって、より豊かで安心できる市民生活の実現につながるなどのメリットがあります。

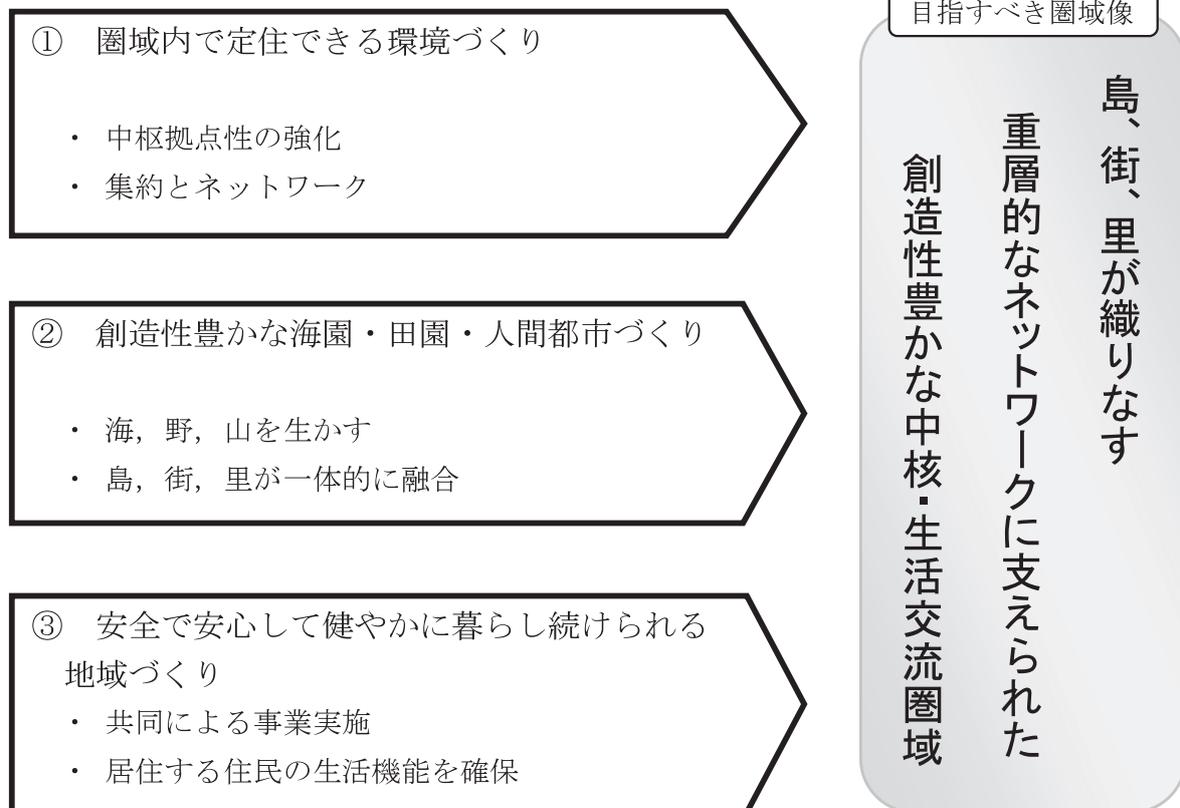
瀬戸・高松広域定住自立圏の取組は、中心市がリーダーシップを発揮し、圏域におけるマネジメントを担いながら都市機能を拡充し、中心市の機能と周辺市町の機能を有機的に連携させ、定住のための暮らしに必要な諸機能を確保し、自立のための経済基盤や地域の誇りを培いながら、瀬戸内海を包含する圏域のメリットが最大限に生かされるよう推進してまいります。

そうして、行政だけでなく、圏域の構成員である住民や事業所も含めた多様な主体が協力し合い、相互の特長を生かし合いながら双方に有益で、様々な課題に柔軟に対応できる、島、街、里が織りなす重層的なネットワークに支えられた創造性豊かな中核・生活交流圏域を目指します。

3 定住自立圏の将来像

(4) 施策の基本方向

目指すべき圏域像の実現に向けた施策の基本方向として、次の3点を掲げます。



① 圏域内で定住できる環境づくり

「集約とネットワーク」の考え方を基本とし、圏域内で定住できる環境を整備しながら、四国ブロック、環瀬戸内海地域における中枢拠点性の一層の強化を図るとともに、圏域全体の活性化と、魅力ある地域の形成を目指します。

② 創造性豊かな海園・田園・人間都市づくり

中心市と周辺各市町との強力な連携とそれぞれの状況に応じた役割分担の下、お互いが持つ資源や機能の活用を図り、広域による行政展開の利点を最大限引き出しながら、海、野、山を生かし、島、街、里が一体的に融合した、創造性豊かな海園・田園・人間都市づくりを目指します。

③ 安全で安心して健やかに暮らし続けられる地域づくり

圏域内におけるサービス水準の均衡等を図る観点から、共同による事業実施や中心市に集積する都市機能の効果的な活用などにより、居住する住民の生活機能を確保し、安全で安心して健やかに暮らし続けられる地域づくりを目指します。